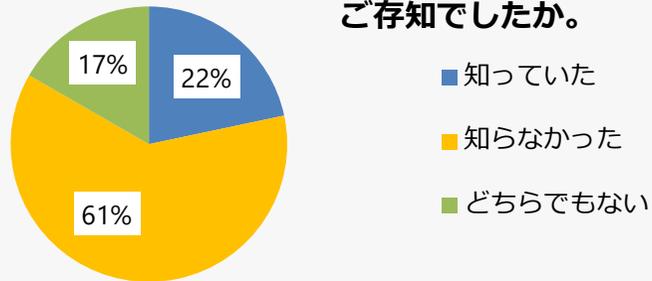




## 法改正の認識に係る分析結果

Q6 法令の改正状況について、  
ご存知でしたか。



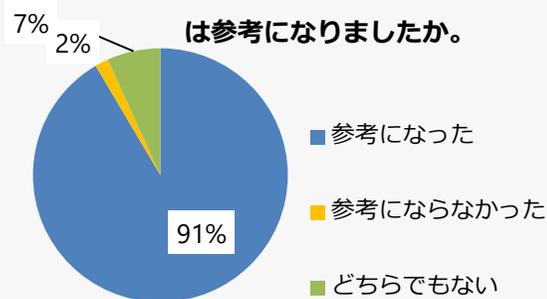
Q7 「法令の改正状況と管内概況」の説明  
は、参考になりましたか。



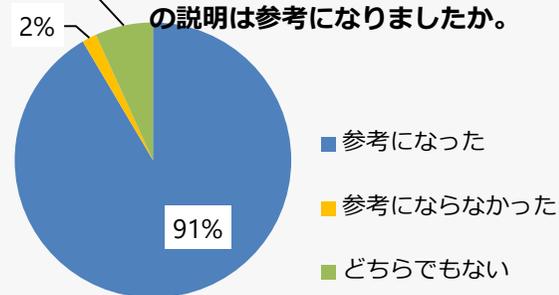
- 法令の改正状況については、HP掲載による周知では、約6割が法改正の認識がなく、周知方法の充実が必要。
- その一方で、約9割の参加者が「参考になった」との回答であり、効果的に法改正等の周知を行うことができた。

## 参考度合いに係る分析結果

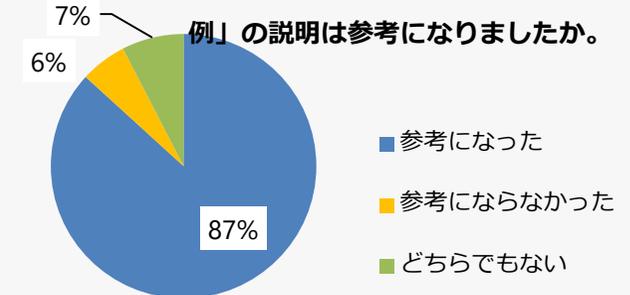
Q8 「小水力の導入事例紹介」の説明  
は参考になりましたか。



Q9 「事故に係る原因分析と再発防止策」  
の説明は参考になりましたか。



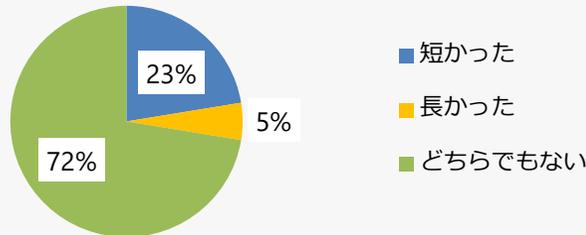
Q10 「導水路に係る施工方法の比較検討事例」  
の説明は参考になりましたか。



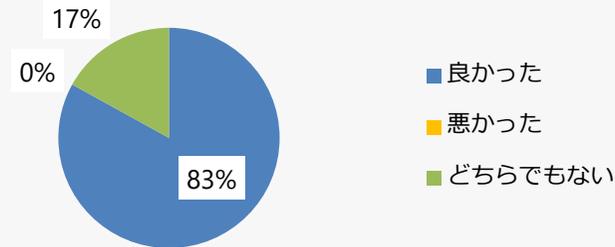
- 約9割の参加者にとって保安の参考に資する機会となっており、当該講演内容が有効な手段であったと評価。

## 開催意義及び意見・要望に係る分析結果

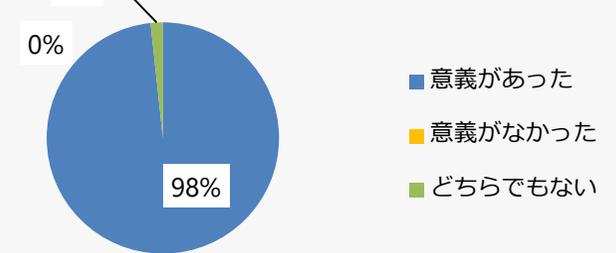
Q11 説明時間は適切でしたか。



Q12 説明内容や説明議題は適切でしたか。



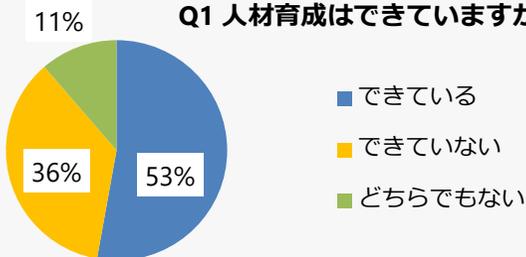
Q13 会議に参加した意義はありましたか。



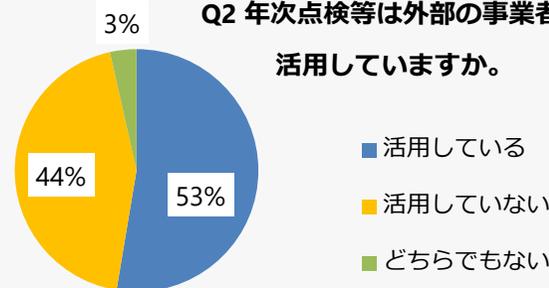
- 参加意義があったとの高い評価結果であり、このような会議のニーズの高さが伺える結果となった。
- 意見・要望では、定期的な会議等の開催ニーズが非常に高く、従来のHP掲載等の画一的な周知型から理解促進型への行政サービスの充実が必要

## 事業者の保安状況に係る分析結果

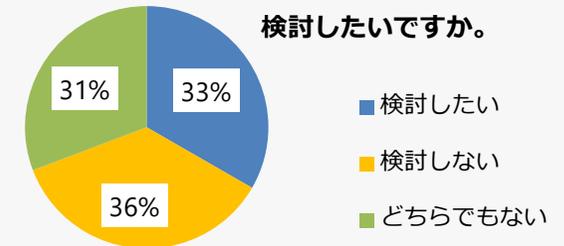
Q1 人材育成はできていますか。



Q2 年次点検等は外部の事業者を活用していますか。



Q3 ダム水路主任技術者の外部委託を検討したいですか。



- 技術者の高齢化等を背景に一部の発電所において、人材育成が困難な状況にあることが伺える。
- そうした中、点検業務等を外部に委託するニーズがあり、新たに導入された外部委託に対しても一定のニーズが存在。